

平成28年度幸区地域課題対応事業 事業評価

	事業名	所管課	事業概要	取組内容	決算額 (円)	実績	達成度	今後の方向性
1 地域資源活用事業								
(1)	御幸公園の魅力向上事業	道路公園センター整備課	かつて幸区に梅林の名所があった歴史を活かし、市制100周年に向け、梅の植樹による梅林の復活や梅まつりの開催、歴史文化の伝承などを市民との協働で推進する。	御幸公園梅香事業推進会議の開催、梅の植樹、歴史講演会開催のほか、御幸公園梅香事業推進計画を策定する。	5,265,524	御幸公園梅香事業推進会議の開催(5/25、8/25、11/16、2/22、3/22)、「小向梅林と御幸地区の歴史」講演会の開催(11/8、12/6)、河川財団の助成金の活用や、市民100万本植樹運動と連携した梅の植樹(20本)、御幸公園梅香事業推進計画の策定(2月)、梅の植樹のための寄付制度の創設(要綱作成)	3	御幸公園梅香事業推進計画に基づき、市制100周年にむけて事業を推進する。
(2)	音楽のまち推進事業	地域振興課	幸市民館等の公共施設を会場として、気軽に良質な音楽を楽しめる定期コンサートである「夢こんさあと」、アマチュアを中心とした演奏者に演奏発表の機会を提供する「さいわい街かどコンサート」、ミュージア川崎シンフォニーホールを会場に、川崎市にゆかりのある音楽活動団体等に演奏の機会を提供し、併せて市民がシンフォニーホールで気軽に音楽に親しむ機会を提供する「さいわいハナミズキコンサート」を開催し、区民が身近な場所で音楽に親しめる環境をつくり、「音楽のまち・かわさき」を推進する。	「夢こんさあと」を年8回、「さいわい街かどコンサート」を年3回、「さいわいハナミズキコンサート」を年1回開催する。	4,054,891	①「夢こんさあと」は、区民による実行委員会と連携を図りながら、年8回開催し、各回約150名が来場者した。 ②「さいわい街かどコンサート」は、10周年を記念し初めて幸区民祭(幸市民館大ホール)にて開催をし、また、ミュージア川崎1階ガレリアでも開催をし、計3日間(3部制)、計13組の演奏者に出演機会を提供した。観覧者数は3日間で延べ約1290人。 ③「さいわいハナミズキコンサート」は、幸区民音楽祭10回目を記念しミュージア川崎シンフォニーホールで2月25日に開催した。演奏者は記念ゲストパイプオルガン奏者1名、幸区内中学校1組を含む計6組、来場者は約1550人。	3	より多くの区民が身近な場所で音楽に親しめる環境をつくるため、幸区内の様々な施設においてコンサートを開催することは重要であり、継続することが適切であると考えられる。しかし、記念コンサート等を行う際には、委託料や会場料の増加が見込まれるため、事業内での調整が必要であることから、それぞれの仕様や役割の見直し・改善のうえ継続できるように進めていく。
(3)	さいわいものづくり体験事業	地域振興課	科学技術関係機関やものづくり関連施設が集積した幸区の特徴を活かし、新川崎地区の研究施設や区内企業等との協働・連携で科学体験教室を開催することにより、青少年がものづくりの基礎となる科学技術を体験的に学ぶとともに、地域との結びつきを深める。	大規模な総合科学体験イベント「科学とあそぶ幸せな一日」(年1回、区内大学、複数の企業・団体と連携)、テーマを絞った体験教室「さいわいトライアエンス」「さいわいテクノ塾」「新規講座」(各年1回、区内企業と連携)を開催する。	1,055,736	・「科学とあそぶ幸せな一日」日程:9月10日(土)、会場:新川崎・創造のもり、参加者:1,300名、内容:科学の楽しさが体感できる実験教室、ものづくり体験講座、展示等(※さいわいテクノ塾「3Dバスを走らせよう!」も出展団体のひとつ) ・「ミクロの世界を覗いてみよう」日程:12月22日(木)、会場: NANOBIC、参加者:28名(抽選)、内容:顕微鏡を使って菌類を観察し、その生態を学ぶもの ・さいわいトライアエンス実験教室「ウインド・パワー! 風力発電と技術者の仕事」日程:3月4日(土)、会場: NANOBIC、参加者:36名(抽選)、内容:環境問題と風力発電について、講義と製作と実験 ・区の一連の取り組みを「さいわいサイエンスCLUB」としてまとめたことで、効果的な企画や広報活動につながった。	3	科学イベントへの関心は高く、引き続き需要が見込まれることから、事業の目的や方向性は維持するものの、見直し・改善のうえ継続することが適切であると考えられる。
(4)	区の木・区の花推進事業	総務課	平成24年度に幸区誕生40周年を記念して制定した、区の木(ハナミズキ)・区の花(ヤマブキ)を区民に広く周知し、区への愛着心を向上させることを目的としている。 また、区の木・区の花を植樹することで、区内の緑化促進を図る。	初の試みとなる写真展の開催や植樹を通じてさらに認知度を向上させる。	1,223,424	写真展を区役所及び出張所で開催することにより、来庁者に区の木・区の花をアピールすることができた。また、次年度に校名が変更になる市立商業高校への植樹を行いさらにPRした。	3	当面は現状のまま維持をしていき、状況に応じて類似する事業との統合をしていく。
(5)	スポーツ推進事業	地域振興課	・外部講師を招聘して講演会を開催し、区民がスポーツに関する最新の知識を学ぶきっかけを提供する。 ・区内で開催されるスポーツ大会を支援することにより、スポーツを通じて健康で活力あるまちづくりを推進する。 ・「かわさきスポーツパートナー」と連携してグラウンドゴルフ大会を実施することにより、幅広い世代の交流を促進し、スポーツを通じた地域コミュニティの活性化を図る。	・高齢者を対象としたスポーツ講演会の開催 ・各種スポーツ大会の表彰支援 ・川崎フロンターレと連携したグラウンド・ゴルフ大会の開催	806,970	・グラウンド・ゴルフをテーマにした自助の取り組みを推進するための講演会の開催 ・少年野球、少年サッカー等への区長杯の贈呈 ・グラウンド・ゴルフ大会「第6回幸フロンターレカップ」の開催	3	スポーツを通じて地域課題の解決や区の魅力の向上を図るため、市の計画や関連する事業の動向、及び区民のニーズを踏まえながら、現在の事業を継続して推進する。なお、かわさきスポーツパートナーと積極的に連携して事業を推進することにより区民の関心を高め、効果的かつ効率的に事業目的を達成していく。
(6)	地域資源を活かしたまちづくり事業	生涯学習支援課	日吉地区に点在する自然・歴史・文化などの豊富な地域資源を大切にしているとともに、地域で活動する団体・個人がこれらの地域資源を活用し、次世代に継承していくことにより、地域資源を活かしたまちづくりを推進する。	地域とのネットワークづくりや世代間交流を推進するためのイベントを開催し、ネットワーク新聞を発行する。 地域の歴史講座や夏休み子ども向け自由研究講座を実施する。	431,287	・地域とのネットワークづくり(気まぐれカフェ)の開催(6回) ・7月29日、加瀬山でプレーパーク開催 ・ネットワーク新聞発行(9,000部) ・日吉の歴史講座の開催	3	地域で活動する団体及び個人がネットワークを構築し、地域特有の自然・文化・歴史を守り、世代間の交流を促進する本事業は、参加者も多く実績のある事業といえる。今後も地域のニーズに応えられるよう、見直し・改善のうえ継続することが適切であると考えられる。
(7)	幸区データブック発行事業	総務課	区政に関する最新データを集計・分析し、読みやすき編集したデータブックを作成し、インターネットを通じて区民へ情報発信することで、区政に対する理解を深めることを推進する。	民生委員児童委員向けにアレンジしたデータブックを作成し、全委員に配布する。また、区役所等の窓口で配架するほか、インターネット上に公開することで、だれでも、いつでも見ることが出来るようになる。	135,900	民生委員児童委員向けにアレンジしたデータブックを作成し、全委員に配布した。	3	事業は継続するが、予算をかけずに実施する。

「達成度」:取組内容に対する達成度 1 目標を大きく上回って達成 2 目標を上回って達成 3 ほぼ目標どおり 4 目標を下回った 5 目標を大きく下回った

平成28年度幸区地域課題対応事業 事業評価

	事業名	所管課	事業概要	取組内容	決算額 (円)	実績	達成度	今後の方向性
(8)	花と緑のさいわい事業	地域振興課	区民ボランティアグループ「さいわい花クラブ実行委員会」を中心に、小中学校や地域の企業との協働による公共花壇の花植え及び庁舎周りの緑化整備や維持管理を行うほか、区内で緑化活動を行う団体の活動を支援するための幸区緑化活動団体支援事業の実施等、区民が行う緑化活動を支援することにより、区民の緑化意識の高揚と花と緑の潤いのある明るいまちづくりを推進する。	「幸区庁舎前花いっぱい事業」「公共花壇花植え事業」「緑化活動団体支援事業」を年2回ずつ実施するほか、区民祭の機会を利用して、多くの区民向けに「たねダンゴ講習会」を実施する。	3,129,989	・公共花壇(大師堀)では、6月と12月にそれぞれ下平間小学校・塚越中学校と連携し、児童・生徒と一緒に植え付けを実施した。12月実施の際には、花植え実施の9年を記念して、小中学校と協働企業に感謝状を贈呈した。 ・「さいわい花クラブ」の新規委員獲得と既存メンバーのスキルアップを目的とし、10月15日(土)と16日(日)の2日間、区民祭の機会を利用して「たねダンゴづくり講座」を実施し、一般から97名の参加があった。 ・緑化活動団体支援事業は、5月に41団体、10月に40団体へ花苗等を提供した。	3	幸区の緑化比率を向上させるため、緑化推進を図ることは重要な課題であることから、事業の目的や方向性は維持するものの、実施方法や頻度などを見直し・改善のうえ継続することが適切であると考えられる。
(9)	花と緑のさいわい事業(公共空間の緑化)	道路公園センター整備課	道路路の余剰地を活用した緑豊かな環境づくりとして、さいわい歩道橋脇の既存花壇(約60m ²)に、区の木「ハナミズキ」、区の花「ヤマブキ」、及びオオムラサキツツジを植樹し、市民に潤いと安らぎを与える自然環境を作り出す。	さいわい歩道橋の南東部に隣接する、既存の花壇敷地に区の木であるハナミズキなどを、デザイン・景観を考慮して配置し、緑化推進を図ると共に、通行する区民及び近隣地域居住者等に潤いと安らぎを与える。	732,240	ハナミズキ(白) H=3.0m,C=0.15m,W=1.0m 1本 ハナミズキ(赤) H=3.0m,C=0.15m,W=1.0m 1本 ヤマブキ H=0.5m 三本立 48株 オオムラサキツツジ H=0.4m,W=0.4m 162株	3	樹木を植えたことにより、維持管理を直営で行うことが可能となったため、委託費を削減し、継続して良好な景観を形成していくことで、区民及び近隣地域居住者等に潤いと安らぎを与えていく。
(10)	さいわい・はじめようエコ事業	企画課	区民会議の提言を踏まえ、地球温暖化、リサイクル等、地球環境に配慮した行動をできることからはじめようと呼びかけるため、小学生を対象とした環境啓発イベント「さいわい子どもエコフェア」の開催、区民と連携した緑のカーテンづくりや企業等と連携したプリンターインカートリッジ、廃食用油の回収など、環境に配慮した取組を行う。	「さいわい子どもエコフェア」を開催し、実際に体験することを通じ、気軽にエコ活動に親しむことで、小学生のエコ意識の醸成を図り、区民と連携した緑のカーテンづくりや企業等と連携したプリンターインカートリッジ、廃食用油の回収など、環境に配慮した取組を行う。	898,007	①8月4日「さいわい子どもエコフェア」を開催し、約800人が来場、②区役所、日吉合同庁舎でゴキヤーカーの種子(1袋5個人入り)を200袋配布、③区役所、保育園等公共施設18箇所にてカーテンを作成し、来庁者に対して環境啓発を実施、④プリンターのインク製造メーカーと連携し、区民の使用済インカートリッジの回収を区役所・日吉合同庁舎にて実施、⑤市民活動団体と連携し、廃食用油の回収を区役所・日吉合同庁舎で実施した。	3	エコフェアにおいては、企業、市民活動団体、行政での協働で行なっている事業であり、来場者への環境啓発だけでなく、企業や団体にとっても地域への社会貢献として有意義な取組となっている。この取組がより多くの区民に対して効果的に啓発ができるように、より多くの出展団体を募り事業を進めていく。
2 健康福祉まちづくり事業								
(1)	ご近所支え愛モデル事業	地域ケア推進担当	区民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域の実現が課題となっていることから、町内会・自治会を中心に地域住民が主体となり、概ね75歳以上のひとり暮らしまたは高齢者のみ世帯の方を主な対象とした声かけや近所の行事への誘いを通じ、近所のつながりで見守り支え合いを行う。当事業の円滑な実施のため、推進会議及び部会を設置し、会議においては実施状況の報告、課題の検討、関係機関との連携調整、当事業の評価等を行い、部会においては地域課題の把握、見守り対象者の把握、対象者への支援計画の作成、実施を行う。	ご近所支え愛モデル事業推進会議に昨年度の3地区に新たに5地区を加えた8地区の町内会・自治会による部会を設置して取組を進める。また、講演会を実施して、報告書を作成する。	1,952,070	・ご近所支え愛モデル事業推進会議を年4回開催した。 ・ご近所支え愛モデル事業推進会議講演会を年2回開催した。それぞれ276名、168名が参加した。 ・8つのモデル事業実施地区に設置した部会を年4回開催した。 ・報告書を作成した。	2	幸区の地域包括ケアシステムの構築に向け、地域で支え合う仕組みづくりとしての「幸区ご近所支え愛モデル事業」を、全区域で展開できるように、事業の運営・執行方法等の見直しを行いながら推進する。
(2)	ふれあい・すこやか事業	高齢・障害課	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし、高齢者同士がお互いに支え合うことができる地域の実現を目指し、自助・互助について学び、地域で実践できる人材の養成を行うことを目的に、「ふれあい・すこやかサポーター養成講座」を実施する。	サポーター養成講座を開催し、修了生に対し、フォロー講座を開催する。高齢者のサービスや、健康について等、理解を深め、サポーターが見守り者として活動できるよう、実践に役立つよう、「ご近所支え愛モデル事業」の周知を図るとともに、自助・互助の必要性について学ぶ。	260,920	・サポーター養成講座(2日間1コース)を開催し、18名のサポーターを養成した。 ・フォロー講座を1回開催し、64名の参加があった。「ご近所支え愛モデル講座」の周知をし、実際に見守りプランの作成をし、地域の見守りについて理解を深めた。	3	ふれあい・すこやか事業の「ふれあい・すこやかサポーター養成講座」としては終了し、講座運営のノウハウを活かし、新たに「ご近所支え愛モデル事業」の実践講座としてリスタートする方向である。
(3)	健康長寿推進事業	地域支援担当	高齢者が地域の中でつながりを持ち、健康を維持・増進するためには、健康づくりに関する知識を習得する機会を提供することが課題であることから、身近な地域で住民主体の健康づくり活動を展開し、健康づくりやそのための環境づくりについて、住民と共に考え、地域特性に合わせて取り組み、健康づくりの普及啓発を推進する。	御幸東地区(戸手・戸手多摩川・小向町・小向西町・小向仲野町・ファインフェールズ・戸手中部・戸手本町2丁目・神明町・オーベルグランドオ川崎 計10か所)において、次のとおり実施する。 ①町内会・自治会を対象に、地区の健康づくりの活動状況やニーズを把握し、健康に関する学習会を企画 ②町内会・自治会合同等で学習会を開催し、実情に合わせながら、町内会・自治会単位でフォロー講座を実施 ③地区全体の高齢者を対象とした、健康づくり普及イベントを実施 ④実施対象地区の活動状況紹介や地域の健康づくり情報に関するリーフレット作成と、町内会・自治会への広報	693,863	①本年度新たに、御幸東地区と南河原地区の2地区(20か所の町内会・自治会)へ事業の参加協力を依頼し、町内会・自治会と共に健康に関する学習会を企画した。 ②健康に関する合同学習会を9回、町内会・自治会毎のフォロー講座を16回(一部合同開催)、全20町内会・自治会で実施した。 ③健康づくり普及イベントとして、平成20年度から平成28年度まで活動を継続しているグループを対象に交流会を1回実施し、活動実績が長いグループが長年の活動実績があるグループの取組を知ることができ、今後の活動の参考とするほか、地域へさらに普及啓発するきっかけとなった。 ④今年度実施した活動状況や地域の健康づくり情報のリーフレットを作成し、御幸地区と南河原の町内会・自治会への回覧等の広報を行った。	3	平成20年度から平成28年度にかけて、一部を除き区内全町内会・自治会へ実施してきたので、今後は、自主的な活動の定着化に向けたフォローとして、活動拠点等を広報するリーフレット等を作成して広く区民へ参加を促すとともに、交流会を開催して各グループの活動の活性化を図り、各地域での継続的な活動を支援する。

「達成度」:取組内容に対する達成度 1 目標を大きく上回って達成 2 目標を上回って達成 3 ほぼ目標どおり 4 目標を下回った 5 目標を大きく下回った

平成28年度幸区地域課題対応事業 事業評価

事業名	所管課	事業概要	取組内容	決算額 (円)	実績	達成度	今後の方向性
(4) 保健福祉情報発信事業	地域ケア推進担当	区民が健康的な生活を送る上で、区民へ保健福祉に関する最新情報を提供することが課題であることから、保健・福祉に関する情報や制度の周知として、情報誌「保健福祉センターだより」を作成し、区内全世帯に年3回ポスティングによる全戸配布を行うほか、区内公共施設での配布、区のホームページへの掲載により情報発信する。	保健・福祉に関わる情報発信の手段として情報誌「保健福祉センターだより」(A4、8ページ、フルカラー)を作成し、全戸配布(ポスティング)の方法により配布する。	2,980,935	・年3回、7月号(76,500部)、10月号(77,000部)、2月号(77,000部)を全戸配布(ポスティング)し、各号につき2,000部を講座や公共施設の窓口等で配布 ・2月号の号外「地域まみり支援センターのご紹介」を10,000部作成し、転入者や町内会等地域団体へ配布	3	子どもから高齢者まで全ての地域住民を対象とした地域包括ケアシステムの構築が重要視される中、保健・福祉にかかわる情報発信の効果的な手段として、事業目的や方向性を維持しながら継続することが適切であると考えられる。
(5) さいわい食品衛生啓発事業	衛生課	食中毒予防の基本である、食中毒予防の三原則(つけない、増やさない、やっつける)や食品の正しい保存方法、正しい手洗いの重要性等について一般区民へ啓発を行い、家庭における食中毒の発生を予防する。また、8月の食品衛生月間に、区役所内展示スペースで、区内の小学生在が作成した食中毒予防等食品衛生に関するポスター展を開催し、広く区民に対して食品衛生知識の啓発を図る。	「我が家の食品衛生」を増刷し、各種衛生講習会や食中毒予防キャンペーン、赤ちゃん銭湯、衛生課窓口等で説明とともに配布する。食品衛生月間である8月に、区役所展示スペース及び市バスにおいて、古川小学校の5、6年生が作成したポスターを掲示し「食品衛生ポスター展」を開催する。また、区役所展示スペースにおいて、子供も興味を持つような啓発パネルや、今年度新たに作成した大人向けの啓発パネルを掲示するとともに、食中毒予防に関するリーフレット、塗り絵を配備して、広い世代の興味を引くよう取り組む。	227,818	・衛生月間である8月に、区役所展示スペースにおいて食品衛生ポスター展を開催 ・同時期に、交通局と連携し、市バスにおいてもポスターの写しを掲示 ・「我が家の食品衛生」を各種衛生講習会や食中毒予防キャンペーン、両親学級、赤ちゃん銭湯、衛生課窓口等の説明の際に約1000部配布し啓発を実施	3	家庭における食中毒は毎年発生していることから、今後も区民に正しい食品衛生知識を広く、かつ継続的に啓発していく必要があると考える。
(6) 区民のための感染症予防事業	衛生課	例年、インフルエンザ等の感染症が流行する中、年少期から区民が感染症予防に関する知識を習得することが、その対策に有効であることから、感染症予防の基本となる手洗いを習慣づけるため、保育園や子供文化センター等の子どもと両親が利用する施設で手洗い講習会を開催し、正しい手洗い方法を普及啓発することにより、家庭内や学校等集団生活における感染症のまん延を防止し、区民の健康維持に役立てる。	保育園や子ども文化センター等、子どもと両親が利用する施設において、実習も含めた手洗い講習会を開催し、正しい手洗い方法について普及啓発を行う。	0	・手洗い講習会実施:保育園5回254名、幼稚園2回251名、子供文化センター3回53名 ・手洗いハンドブック635部配布	3	集団施設においては人から人へうつる病原体に暴露する可能性が高く、集団発生が起こると周囲にも影響も与えることがあるため、今後も継続して正しい手洗い方法について普及啓発していく必要があると考える。
3 子ども・子育てまちづくり事業							
(1) 総合的な子ども支援ネットワーク事業	地域ケア推進担当	安心して子育てできる社会を目指し、区内の子ども支援機関及び関係機関の連携強化が求められることから、情報交換、相互協力及び支援策の検討・推進を図るための会議を通して、子育て支援のネットワークを構築する。部会を設置して、子ども子育て講演会や子育てフェア、学齢期児童向け情報誌の発行等を行う。	幸区子ども総合支援ネットワーク会議及び3つの部会「子どもの地域包括ケアシステム部会」「みんなで子育てフェア部会」「子ども情報ネット部会」を開催すると同時に、子ども子育て講演会、フェア、情報誌発行を実施する。	2,036,896	・幸区子ども総合支援ネットワーク会議 2回 ・子ども子育て講演会部会 2回、子ども子育て講演会 2回 ・みんなで子育てフェア部会 5回、みんなで子育てフェア 1回 ・子ども情報ネット部会 3回、子ども情報ネット発行 3回 ・子どもの地域包括ケアシステム部会 1回	3	子ども子育て分野の地域包括ケアシステムの構築に向けて、当該事業を活用しながら子ども・子育て分野における地域課題を収集し、自助・互助の取組の強化や地域との役割分担の見直し等を行いながら継続して実施する。
(2) 子ども・子育て支援事業	保育所等・地域連携	子育て交流の場の拡大、父親の育児参加の促進、子育て関連情報の提供、子育て支援関係機関・団体の交流等各種事業を通じて、区民の子ども・子育て活動支援を推進する。	パパッとサタデー講座・自主運営型広場、子どもの外遊び、日吉おやこであそぼうランド「木曜子育て支援講座・日吉子育て講座」を開催する。また、「お散歩に行こうね」、「おこさまっぷさいわい」を発行して広報する。	3,957,728	・父親の育児参加を促進する土曜子育て支援講座「パパッとサタデー講座」を毎月幸区内子ども文化センターで開催 ・「お散歩に行こうね」を毎月作成し、区内保育園・地域子育て支援センター・子ども文化センターに2,500部配布 ・「おこさまっぷ」を5,800部作成し、区内保育園・地域子育て支援センター・子ども文化センター等に配布	3	社会状況の変化により、子育て支援講座への参加者も増加しており、それらに対応することも必要であると考えることから事業の目的や方向性は維持するものの、見直し・改善のうえ継続することが適切であると考えられる。
(3) 保育所活用事業	保育所等・地域連携	地域の子ども・子育て支援の充実・強化と共に、民間保育所間の連携強化と、区内保育所の保育の質の確保に向けた公民保育所の人材育成を実施する。	・地域の子ども・子育て支援の機能実施 ・民間保育所への支援機能実施 ・公民保育所の人材育成機能実施	1,737,568	・日吉あそぼうランドにおいて世代間交流イベントを5回開催した。 ・栄養士による離乳食の試食や相談を通し、食事に対する不安の解消につながった。 ・各施設で絵本読み語りを実施し、民間保育所の地域活動の強化や地域支援、職員の人材育成を図った。 ・保育園職員の人材育成として研修を実施し、民営の保育園職員と共に学ぶ機会を多く持つことで職員のスキル向上を図った。	2	幸区内の保育園施設が地域の子育て中の親子の安全安心な居場所づくりと子どもの健やかな成長のためのツールとして今後も継続することが適切であると考えられる。
(4) 幸区待機児童対策事業	児童家庭課	多様な保育事業に関する情報提供を行い、保育の選択肢を広げ、利用者に対するきめ細やかな相談・支援を実施して待機児童の解消を図る。	昨年度まで冊子で作成していたガイドブックについて、比較的安価に作成可能なリーフレットタイプに形式を変更するとともに、電子媒体での情報提供を活用するなど、経費を削減しつつ効果的に事業を実施する。	386,183	・平成28年10月からの利用申請時に多様な保育事業の紹介ツールとして活用した。 ・平成29年4月入所保留者のアフターフォローのツールとして活用した。 ・作成したリーフレットの内容は区のホームページに掲載し、効果的に広く情報提供することができた。	3	待機児童解消については、対費用効果に留意しつつ区民サービスに配慮して今後も継続して取り組む必要がある。

「達成度」:取組内容に対する達成度 1目標を大きく上回って達成 2目標を上回って達成 3ほぼ目標どおり 4目標を下回った 5目標を大きく下回った

平成28年度幸区地域課題対応事業 事業評価

	事業名	所管課	事業概要	取組内容	決算額 (円)	実績	達成度	今後の方向性
(5)	児童虐待防止・ 子ども相談支援 事業	地域支援 担当	子どもたちが健やかに地域生活を送るための環境づくりが課題であることから、協議会や学習会の開催を通じて、要保護児童・要支援児童の早期発見や発達に課題のある子どもとその保護者の支援を行う体制づくりを推進する。 また、子ども相談窓口を設置し、子どもに関する各種相談を行うほか、要保護児童対策地域協議会実務者会議を開催し、講演や事例検討を通じ、各関係機関と連携を図れるようにするとともに、児童虐待防止について区民への啓発を進める。	子ども相談窓口リーフレットを作成し、普及啓発を行う。要保護児童対策地域協議会実務者会議を年5回開催する。会議の中で地区別のグループワークを行い、顔の見える関係づくりを行う。	524,006	子ども相談窓口リーフレットを作成し、子どもの支援機関の普及啓発を行った。要保護児童対策地域協議会実務者会議を年5回開催し、地区ごとのグループワークを恒例化し、児童虐待防止や要保護児童の発見に地域で取り組める体制づくりの構築に努めた。	3	目的はほぼ達成できた。 児童虐待が増加しており、それらに対応することも必要であると考えられることから、事業の目的や方向性は維持するものの、見直し・改善のうえ継続し、子どものみまもりを推進することが適切であると考えられる。
(6)	幸区子ども学習 サポート事業	生涯学習 支援課	外国につながる児童が増加し、日本語での会話や読み書きについての支援が課題となっていることから、週1回、受託者及びボランティアが教室を開いて、小学生及び中学生の対象児童に対し学習支援を行う。	東小倉小学校で、毎週1回、学習サポート教室を実施する。	650,597	年間40回、東小倉小学校施設を利用して実施。年度当初から子どもの数が減り、広報等を重点的に行ったが、その後も増えなかった。子どもの減少により学習支援ボランティアの数を増やす必要は無くなったため、今年度は学習支援ボランティア養成講座は実施しなかった。	4	平成28年度に入って出席児童の数が減少した。平成29年度に事業の必要性、費用対効果、事業の運営方法を再検討する。
4 地域コミュニティ活性化事業								
(1)	地域コミュニ ティ推進事業	地域振興 課	・行政から依頼している回覧及び掲示依頼物を、区役所で集約し、毎月末に委託業者から一括配送することで、町内会・自治会の負担を軽減し、地域活性化を図る。 ・幸区の町内会・自治会の活動内容を親しみやすく紹介し、加入促進を図るための独自チラシを作成・配布する。 ・地域活動を支える人材の育成、地域コミュニティの活性化等を目的とした「町内会・自治会活性化講座」を実施する。	・負担軽減のための町内会・自治会への回覧及び掲示依頼物の一括配送の実施 ・転入者等に向けた町内会・自治会加入促進チラシの作成・配布 ・地域活動を支える人材の育成、地域コミュニティの活性化等を目的とした「町内会・自治会活性化講座」の実施 ・大規模マンション建設が進行する新川崎・鹿島田地区における課題の解決や地域連携の促進に向けた「新川崎・鹿島田駅周辺地域コミュニティ推進会議」の開催	1,135,505	・一括配送については役員の負担軽減という意味では一定の効果を得られている。(95件) ・町内会・自治会活性化講座については、11月18日、12月2日、16日、3月24日の4回実施し、208名の参加者があった。 ・幸区独自の加入促進チラシを作成し、区民課の窓口で「転入者セット」に入れて配布した。 ・大規模マンション建設が進行する新川崎・鹿島田地区における課題の解決や地域連携の促進に向けて、「新川崎・鹿島田駅周辺地域コミュニティ推進会議」を5回開催し、大規模マンション建設時の先進事例等として、「新川崎・鹿島田駅周辺大規模マンション自治会設立に向けて」及び「新川崎・鹿島田駅周辺地域町内会・自治会活動の概要」を取りまとめた。	3	「川崎市町内会・自治会の活動の活性化に関する条例」の趣旨に鑑み、町内会・自治会への理解促進や役員等の人材育成のための講座の実施、さらには大規模マンション建設が進行する新川崎・鹿島田地区における課題の解決や地域連携の促進に向けた「新川崎・鹿島田駅周辺地域コミュニティ推進会議」の開催など、今後も地域コミュニティの活性化に向けた取組を推進していく。
(2)	市民活動等支 援事業	地域振興 課	幸区内の市民活動を活性化させることによって、区民が身近な地域課題を考え、解決していくことを支援する。そのために、幸区市民活動コーナーや幸区市民協働プラザの管理運営を利用団体や区民の方と協働で行うこと、市民活動を一般の市民にも知ってもらう発表の場として幸区市民活動交流イベントを開催する。	利用団体・区民との協働による区の市民活動の拠点となる幸区市民活動コーナーを運営するほか、市民に活動内容を知ってもらい、活動団体同士がつながり、活動を広げるための幸区市民活動交流イベントを開催する。	2,354,922	・幸区市民活動コーナー、幸区市民協働プラザ及び幸区役所展示コーナーの運営による活動拠点の提供や広報等を支援した。 ・市民活動の発表の場や市民活動団体同士がつながる場として幸区市民活動交流イベントを2月に開催した。	3	幸区市民活動コーナーの運営等を通して、市民活動団体と行政との接点が増えてきた。今後とも登録団体を増加させることを通じて、行政側が様々な団体の活動内容等を把握し、コーディネート力を高める必要がある。また、市民活動交流イベントについては、自立した運営に向けて進めていく必要がある。
(3)	幸区多文化共 生推進事業	生涯学習 支援課	地域における外国人市民の増加を受け、すべての市民が違いを認め合い共に生きる社会をつくるための意識啓発が課題であることから、参加者が多くの文化に触れ、それぞれの文化を持つ人々と交流することで多文化共生社会を意識できる事業を実施していく。	多文化コンサート1回、多文化フェスタ1回、多文化共生に関する単発講座(国際理解基礎講座)全5回(多文化トレイン)を実施する。	724,406	・9月22日 多文化コンサート実施(中国の民族音楽と舞踏)来場者600名 ・9月24日 多文化フェスタ開催(各国のカフェ、食べもの、ステージ、文化体験等のお祭り)来場者900名 7/10、9/4、11/23、12/17、3/4 多文化トレイン(全5回講座)開催(外国人とその国の料理を作る、市内バスツアー、地域の多文化共生を考える等) 参加者延べ121名	3	来場者数が横ばい傾向のため、事業の目的は維持するものの、フェスタ及びコンサートの運営方法や講座の内容・実施回数について見直し・改善する必要があると考えられる。
(4)	さいわいガイド マップ発行事 業	地域振興 課	幸区の地理や公共施設の一覧など、区民生活に必要な基礎的な情報を提供するため、幸区への転入者を主な配布対象とする「さいわいガイドマップ」を発行し、利便性の向上や区への愛着心の醸成を図る。	幸区内の地図や公共施設の一覧、バス路線図の情報などを最新の情報に更新し、発行する。人口の増加と、区の最新情報マップとして多くの需要が見込まれることから、発行部数を増刷する。	846,720	・地図情報の更新やデザインの見直しを図り、平成29年3月に発行部数を増やして14,000部発行した。掲載する情報については、各所管課へ確認してもらうことで効率的かつ正確に最新情報を集めて更新した。 ・引き続き広告を掲載することで、経費負担を軽減した。	3	需要の高い広報物であることから事業の目的や方向性を維持し、内容を更新しながら継続することが適切であると考えられる。
(5)	地域の魅力発 信事業	企画課	夢見ヶ崎公園において、地域団体や小学校等と連携した花植え活動を実施するなど、区民の憩いの空間づくりを推進する。	夢見ヶ崎公園内に整備している花壇において、地域団体と小学校と連携した花植え活動を実施する。	704,288	夢見ヶ崎公園周辺小学校(小倉、日吉、南加瀬、夢見ヶ崎小学校)及びさいわい加瀬山の会(地域団体)との協働で、夢見ヶ崎公園内の花壇で年2回(6月、11月)の花植え活動を実施した。	3	地域住民等の協力を得ながら、公園の魅力向上に資する新たな取組を実施するなど、適切に事業を推進していく。

「達成度」:取組内容に対する達成度 1 目標を大きく上回って達成 2 目標を上回って達成 3 ほぼ目標どおり 4 目標を下回った 5 目標を大きく下回った

平成28年度幸区地域課題対応事業 事業評価

事業名	所管課	事業概要	取組内容	決算額 (円)	実績	達成度	今後の方向性
(6) 鹿島田駅周辺総合的環境整備事業	道路公園センター管理課	鹿島田駅周辺の環境整備に関して、放置自転車対策、道水路美化対策、ゴミばこボイ捨て防止の啓発などの活動を実施しながら、暮らしやすいまちづくりに向けて自主的な地域コミュニティの形成を目指す。	事業の当初目的である自転車放置対策や環境美化について一定程度の成果がみられることから、これまでの事業の成果を検証し、二ヶ領用水の勉強会や環境ポスター展等のイベントを含む、事業の方向性を検討する。	537,023	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡会議(4回開催) ・平成28年9月 小・中学生による環境ポスター展の作品募集 ・平成28年10月 ニヶ領用水勉強会 ・平成28年11月 放置自転車防止の啓発活動 ・平成29年1月 環境ポスター展優秀作品の選定および表彰 	3	駐輪場の整備、新川崎の再開発により放置自転車については一定程度の成果が見られ、連絡会議の活動により住民の美化意識が高まり、当初の目的を達成したことから、平成29年度は事業内容を総括等を行い当年度をもって事業終了していく方向とする。
(7) コミュニティカフェ推進事業	生涯学習支援課	地域における住人同士の交流が希薄になってきているという課題に対応するため、子どもから高齢者まで、様々な区民が参加できるカフェ形式の交流拠点を提供し、地域住民の交流を図るとともに地域の活性化を推進する。	コミュニティカフェを月1回実施する。なお、幸市民館休館以降は幸区役所4階ラウンジ「ヤマブキ」で実施する。また、コミュニティカフェ講座を実施し、区民への周知を図る。	311,921	コミュニティカフェを毎月第二金曜日に全11回実施した。通常は幸市民館ロビーが会場だが、大規模改修工事による休館以降は区役所4階ラウンジを使用した。参加者は累計337人。また、コミュニティカフェ講座を実施し、参加者7人中1人が実行委員会に加入した。	3	来場者数が横ばい傾向のため、事業の目的は維持するものの、コミュニティカフェの開催場所を増やし、カフェ講座は実施規模を縮小し、内容を改善していく。
(8) はじめよう地域活動プラチナ講座事業	生涯学習支援課	地域活動に参加する住民が減少しているという課題に対応するため、定年退職等で仕事を辞めた区民を対象に、自身の知識や経験を活用することを目的として、コミュニティ活動紹介を通して地域で活動する楽しさや意義の理解を図り、地域活動に積極的にかかわる新たな人材の育成を推進する。	コミュニティビジネスをテーマに、これまで培った仕事の経験を地域で生かすという趣旨で全5回の連続講座を実施する。	221,847	1月14日から2月11日まで、毎週土曜日午後2時～4時(全5回)で講座を実施した。前年度はシニア世代を対象としていたが、今回は趣旨通り定年退職世代(60歳前後)を対象を絞って募集したところ、参加者4人と減少してしまった。参加者から市民自主企画事業の提案が出る等、地域活動に繋がる人材を育成することはできたが、参加数は目標を下回った。	4	事業を見直し・改善のうえ継続する。
(9) 幸区民祭開催経費	総務課	地域に密着した事業である幸区民祭の開催を補助し新旧区民の交流と連帯を深め、地域コミュニティの活性化を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場完成等により、利用可能面積が拡大し、出店(展)数・出演者数が大幅に増加したことに対応した新たなレイアウトでの実施 ・来場者が混乱しないよう出店(展)配置図とイベント予定表を記載した当日配布用のパンフレットを初めて作成 ・新たにこども向けの催し物を集めたコーナーを設置 ・幸区の魅力や子育て情報などの広報 ・駐車場・多目的広場完成に伴い、記念式典を開催 ・多目的広場の名称を区民祭来場者からの投票で決定し、結果を発表する企画の実施 	594,483	<ul style="list-style-type: none"> ・世話人会、実行委員会等を開催(全4回) ・出店(展)配置図とイベント予定表を記載した当日配布用のパンフレットの作成(10,000部) ・新たにこどもコーナーを設置(ふあふあ・ミニSLの設置等) ・「魅力発信研修ブース」「保育園・子育て情報ブース」「地域包括ケアシステムブース」を出展 ・駐車場・多目的広場完成記念式典の開催 ・来場者からの投票により多目的広場の名称を「ゆめ広場」に決定 	3	コミュニティの形成・発展には継続的な活動が重要であり、今後も新旧区民の交流の機会をもつことが重要であることから、現状のまま継続して実施することが適切であると考えられる。
5 安全・安心まちづくり事業							
(1) 地域防災活動の推進事業	危機管理担当	幸区における地域住民、企業、関係団体等と行政が大規模災害時に対して、必要な対応策の協議・検討を行うとともに、防災・減災に関する情報収集、共有を図るため、幸区災害対策協議会を運営することにより、地域防災力の強化に向けた取組を推進する。	幸区災害対策協議会の「全体会」のほか、「医療救護部会」「要援護者支援部会」「帰宅困難者対策部会」「地域防災連携部会」の4つの部会における、分野別の各種課題に関する必要な対応策の協議・検討と、関係機関・団体と連携した訓練等を実施する。	1,020,442	幸区秋の総合防災訓練(9/3)、EMIS操作研修(9/30)、川崎駅西口帰宅困難者対策訓練(10/26)、災害医療訓練(1/15)、応急救護研修(1/19)、幸区春の総合防災訓練(傷病者対応訓練、口腔ケア訓練、エコノミークラス症候群予防訓練、要援護者支援・移送訓練2/11)を実施した。	2	大規模災害の発生により、更なる地域防災力の向上が求められていると考えられることから、事業の目的や方向性は維持するものの、適切な見直し、改善を行いながら、引き続き事業を実施していくことが必要と考えられる。
(2) 幸区災害対策推進事業	危機管理担当	大規模災害の発生に備えた地域防災力の強化に向け、自主防災組織や避難所運営会議の活性化支援策として、各種訓練等を実施する。また、区本部の災害対応拠点機能の強化を図るため、区本部用地図パネルやアンブレボード、エアマット等の防災資器材の配備を進める。	防災専門コンサルタントを活用した「避難所開設・運営訓練」実施や「幸区避難所(開設)(運営)訓練マニュアル」作成、「マニュアルの使い方説明会」を開催し、防災資器材を計画的に配備する。	6,661,872	「避難所開設・運営訓練」を実施(H28.9～H29.2、計10回)、「幸区避難所(開設)(運営)訓練マニュアル」を作成、「マニュアルの使い方説明会(3/14,15)」を開催、防災資器材を配備(区本部用地図パネル8台、アンブレボード6台、エアマット320枚等)した。	3	大規模災害の発生により、更なる地域防災力の向上が求められていると考えられることから、事業の目的や方向性は維持するものの、適切な見直し、改善を行いながら、引き続き事業を実施していくことが必要と考えられる。
(3) 案内サイン設置事業	企画課	案内サインの新設及び更新を通じて、主要駅や道路から区役所・市民館等への経路案内を充実し、日常及び災害時における来訪者を関係施設へ円滑に誘導する。	<ul style="list-style-type: none"> ①鹿島田駅から幸区役所への案内サインの新設 ②鹿島田駅及び矢向駅から幸区役所への既存案内サインの盤面更新 ③川崎駅西口あわせひろばに設置している赤煉瓦倉庫モニュメントの案内板の設置 	2,763,180	<ul style="list-style-type: none"> ①鹿島田駅から幸区役所への案内サインの新設 1基 ※多言語(4か国語)表記で盤面製作 ②鹿島田駅及び矢向駅から幸区役所への既存案内サインの盤面更新 7基 ※多言語(4か国語)表記で盤面製作 ③川崎駅西口赤煉瓦倉庫モニュメントの案内板の設置 3箇所 	3	案内サインの設置及び更新を行うことは、市民、外国人来訪者などへの利便性の向上に繋がる取組であり、今後も社会環境の変化等を踏まえながら、連続性・統一性に配慮したサインの新設及び盤面更新を推進する。

「達成度」:取組内容に対する達成度 1 目標を大きく上回って達成 2 目標を上回って達成 3 ほぼ目標どおり 4 目標を下回った 5 目標を大きく下回った

平成28年度幸区地域課題対応事業 事業評価

事業名	所管課	事業概要	取組内容	決算額 (円)	実績	達成度	今後の方向性
(4) 交通安全普及啓発事業	危機管理担当	区内での自転車交通事故等の現状を踏まえて、多様な世代に対して交通安全意識の向上を図ることが課題であることから、交通安全教室などを通じて、交通安全知識の習得などを目的とした啓発活動を推進する。	小学校1年生・3年生・中学校・高等学校・短期大学・区内保育園・町内会等を対象とした交通安全教室(スクエアドストリート3回を含む)を実施するほか、各季(春・夏・秋・年末)の交通安全期間中及び各強化月間(5月・12月)において啓発活動等を実施する。	1,799,906	小学校等の交通安全教室をスクエアドストリート方式3回を含め57回実施した。春・夏・秋・年末の交通安全運動期間及び5月(自転車マナーアップ)・12月(飲酒運転根絶)の各強化月間において啓発活動を実施した。	3	平成26年度から平成28年度まで幸区提案型協働推進事業として実施してきた川崎フロントと協働した自転車交通安全普及啓発活動の経験を活かし、平成29年度以降の取組への活用を図りながら、効果的な啓発活動を継続していくことが適切であると考えられる。
(5) 安全・安心まちづくり普及啓発事業	危機管理担当	区民が安全かつ安心して暮らせるまちづくりを目指すため、「自分たちのまち」は、自分たちで守る」という心がけを住民一人ひとりが持つことが出来るよう、意識の高揚を呼びかける啓発活動を実施する。	振り込み詐欺や放火防止等呼びかけの街頭キャンペーン、毎月1日・10日の子ども安全の日に行う防犯パトロール、町内会等への防犯パトロールベスト及び誘導灯の貸出による自主防犯パトロールの促進、幸警察署生活安全課と連携した振り込み詐欺注意喚起庁内放送の実施(適宜)。	386,291	・街頭でのキャンペーン(10月11日、12月11日:啓発品配布数計2,000) ・消防フェアにおける啓発活動(11月10日、2月28日、啓発品配布数計1,000) ・幸警察署生活安全課と連携した振り込み詐欺等注意喚起庁内放送の実施(適宜) ・子ども安全の日パトロール(月2回、区内一円)、町内会・自治会自主防犯パトロールベストおよび誘導灯の貸出	3	啓発活動等現状の活動は継続しながら、警察、消防、近隣自治体等との犯罪情報などの情報共有のあり方について、見直しが必要と考える。
(6) さいわい動物愛護推進事業	衛生課	動物の愛護と適正な飼育管理について普及啓発を行い、理解と関心を深めることで、飼育動物に関するトラブルを抑制することを目的として、リーフレット及びペットの災害対策のための「ペットの防災手帳」を配布するとともに、区民の相談に対応するため種々の啓発用プレートを作成・配布する。また、子供向け動物愛護啓発小冊子「ワンコからの手紙」を作成し就学児に配布し、夏休み親子動物愛護教室を開催する。	・動物愛護啓発冊子「ワンコからのてがみ」の増刷、配布 ・地域的な問題となりやすい犬の糞処理や猫の適正な管理について、飼い主等への啓発用プレートを作成、配布 ・各種行事等で糞取り袋や動物愛護及び適正飼養に関するリーフレットを配布し、啓発活動を実施 ・夢見ヶ崎動物公園との共催で「親子動物愛護教室」を開催	152,064	・動物愛護啓発冊子「ワンコからのてがみ」:1445冊配布 ・飼い主等への啓発用プレート:70枚配布 ・糞取り袋:71枚配布 動物愛護及び適正飼養に関するリーフレット:8135枚配布 ・夢見ヶ崎動物公園との共催で「親子動物愛護教室」を7月30日(土)に実施、10組20名参加	3	ペット飼養に起因する近隣トラブルや動物虐待事件は継続的に発生しており、動物愛護普及啓発事業は住みよい街幸区を推進していくために今後も必要であると考える。
6 区役所サービス向上事業							
(1) 区民に身近な区役所づくり推進事業	区民課	窓口サービスの円滑な提供のため、窓口混雑の緩和や待ち時間の短縮が課題であることから、転入世帯向けの届出案内書類を事前配布することにより、区民が快適に区役所を利用するための環境づくりを推進する。	大規模マンション入居者及び社宅・寮の転入手続きについては、待ち時間の短縮や混雑緩和と窓口の快適性を高めるため、「転入・転居の手続」案内の作成と必要書類を事前に配布する。	524,526	・大規模マンション入居者への「転入・転居の手続」と「住民異動届」また「印鑑登録申請書」等を事前に配布した。 ・社宅・寮の担当者とも上記のとおり事前に配布した。 ・住居表示係と連携し、新規大規模マンションの担当者と連絡・調整ができた。	3	「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」(番号法)の施行により、住民異動届の個人番号通知カード処理及び個人番号(マイナンバー)カードの交付業務については、窓口混雑緩和をどう図っていく課題があることから、今後課題を整理し、受付窓口の見直し等について検討していく。
(2) 幸区情報発信推進事業	企画課	区民会議の審議や提言を踏まえた地域課題解決への取組、区政情報等を区民に親しみやすく広報するなど、情報発信力の強化と充実を図ることを目的とし、区独自の広報紙である「さいわい広報特別号」を発行し、新聞折込のほか、区内公共施設への配架、各種イベントや会議等で区民に配布する。	さいわい広報特別号を年2回発行し、主要紙7社(朝刊)への一斉折込と区内公共施設への配架、各種イベントや会議等での配布を通じて区民への情報発信を行う。	1,722,560	・さいわい広報特別号「町内会・自治会の活動に参加しよう」48,000部発行(11月) ・さいわい広報特別号「御幸公園梅林復活を目指して」48,000部発行(2月) ・区民会議発信事業「町内会・自治会活性化パネル」A1×4種制作(3月) ・区民会議発信事業「自転車マナー向上DVD」制作(3月)	3	さいわい広報特別号は、地域特性や区民ニーズを的確に捉えた特集を計画的に発行している。今後も、特集内容によって配布先を工夫し、より多くの区民に区政情報等を伝えられるよう、事業を進めていく。
(3) さいわい区民アンケート事業	企画課	日常生活や区政に対する幸区民の意識を多面的に調査することにより、区民の生活意識や行政に対する意識を明らかにし、川崎市総合計画実施計画(区計画)への反映など、区政運営や地域課題解決に向けた取組の参考とすることを目的に実施する。	区内在住の18歳以上の男女2,000人(外国人含む。)を無作為に抽出してアンケート調査を実施する。	1,271,160	2,000標本のうち、有効回収数は945件、回収率は47.3%で、効果的な調査を実施することができた。	3	区政運営や地域課題解決に向けた取組を行う上で、区民の生活意識や行政に対する意識を定期的に調査し把握する必要があるため、事業の実施は維持するもの、調査項目を見直し・改善のうえ継続することが適切であると考えられる。
7 地域課題対応その他事業							
(1) 幸区提案型協働推進事業	企画課	地域の課題を地域自ら解決していくことを目指して、地域の課題の解決に資する公益性の高い事業を実施できる市民活動団体等を公募して、協働型の事業委託を行う。募集するテーマについては、区課題や区民会議における審議テーマなどから選定する。	区計画や区民会議における審議・提言等を踏まえて募集テーマを設定し、事業を公募する。応募のあった事業について、学識経験者、行政職員で構成する審査委員会等において選考するとともに、採択された事業について、提案団体と区との協働により事業を実施する。	2,343,704	平成28年度実施事業として提案・採択のあった7事業について、提案団体、事業所管課、企画課で調整・連携し、提案事業の効果的な事業実施を推進した。また、各事業について1月に公開の事業評価会を実施して、実施結果の評価を行った。また、平成29年度に実施する事業として、11月から12月にかけて募集した結果、6件の応募があり、第1次審査(書類審査)、第2次審査(公開プレゼンテーション)を踏まえ、2件の事業を採択した。	3	地域のニーズを把握するとともに、区民会議の審議等を反映し、地域課題解決に資する市民協働の取組を図っていく必要がある。また、提案事業終了後、地域での自立した活動につながるべく必要があると考えられることから、事業の目的や方向性は維持するものの、地域課題の解決に向けた募集要項等の見直し・改善のうえ継続することが適切であると考えられる。
8 区の新たな課題即応事業							
(1) 区の新たな課題即応事業	企画課	年度途中に発生する新たな課題に適切かつ迅速に対応し、課題解決に向けた取組を推進する。	年度途中に発生する新たな地域課題等に対して、区企画調整会議で事業の必要性や方法などについて審議し、対応する。	2,752,199	①幸区役所北側入口インターホン設置委託(実施時期28年11月、金額266,760円) ②案内用ホワイトボード等の調達(実施時期28年12月、金額259,829円) ③御幸公園の既存樹木(梅)の樹勢回復委託(実施時期29年1月、金額898,560円) ④受付カウンターに設置する杖ホルダー、キッズコーナーへのコーナーガードの調達(実施時期29年1月、金額140,130円) ⑤ポストコーンの購入(実施時期29年2月、金額474,120円) ⑥防災倉庫の調達(実施時期29年3月、金額712,800円)	3	新たな課題に対して、財政局や関係部署と連携・調整を図りながら適切かつ迅速に対応する必要があるため、事業を現状のまま継続することが適切であると認められる。また、即応事業費を執行した事業について、今後の継続的な取組や関連事業の必要性等を検証し、適正な予算要求に向けて関係課と調整を図っていく必要がある。

「達成度」:取組内容に対する達成度 1 目標を大きく上回って達成 2 目標を上回って達成 3 ほぼ目標どおり 4 目標を下回った 5 目標を大きく下回った